

精神症状 思考の障害_1

思考制止

思考進行が遅くなり、着想も貧困になっている状態（抑うつ状態）

思考途絶

思考進行が途中で突然停止する状態（統合失調症）

観念奔逸

思考進行が速く、話題が飛躍するため理解困難（躁状態）

滅裂思考（思考の解体）

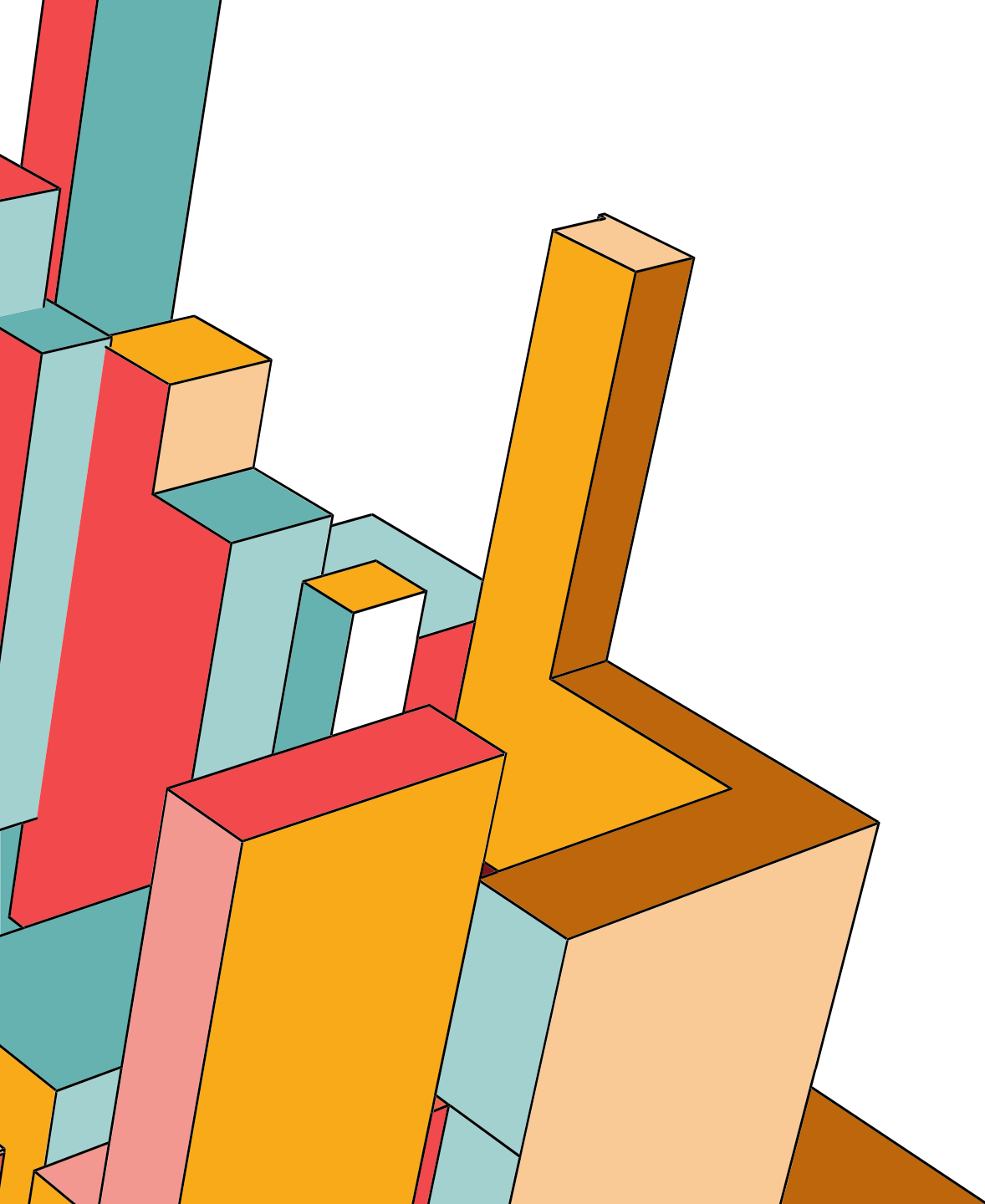
個々の言葉の間に意味関連が認められない状態（統合失調症）

粘着（保続）

思考が1ヶ所に停滞し、別のテーマに移れない状態（脳器質疾患、てんかん）

迂遠

細かい点にとらわれて、回り道をしながら話の目的に達する状態



精神症状 思考の障害_2

妄想

「病的な心理的基盤から生じた誤った確信」で、特徴として、比類なき主観的確信、訂正不能性、不合理な内容、の3つがある（「突飛さ、訂正不能、体系化」が臨床的には重要）

内容による分類

被害・関係妄想

注察、被毒、追跡、物盗られ、嫉妬、つきもの妄想（統合失調症の被害妄想が重要）

微小妄想

貧困、罪業、心気、虚無妄想（うつ病）

誇大妄想

血統、宗教、恋愛等に関する妄想（躁病）

強迫観念

本人も不合理と分かっているのに追い払うことができない考え（強迫性障害、統合失調症）

心気症（≠心身症）

生理的現象や身体異常にとらわれ、執拗に不調を訴える状態（神経症、抑うつ状態）